

科目名		胸部外科学実習	
科目責任者	田 中 文 啓	(第2外科学 教授)	
担当者	黒 田 耕 志	(第2外科学 准教授)	
担当者	田 嶋 裕 子	(第2外科学 講師)	
開講時期:	2～4年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 90 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>胸部外科学領域における臨床的問題解決のために必要な、基礎実験手技や臨床疫学・統計学的手法について実習を行い、その手技を習得する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 遺伝子操作・実験動物に関する申請書類を作成することができる。 2) 臨床研究実施に必要な倫理申請書類を作成することができる。 3) 研究目的での臨床検体取得のための適切なインフォームドコンセントを得ることができる。 4) 各種臨床検体を研究目的で用いるための匿名化等の手続きを行うことができる。 5) 研究目的での適切な臨床検体の処理と保存ができる。 6) 臨床検体より遺伝子や蛋白を抽出することができる。 7) 各種の分子生物学的手法を用いて遺伝子や蛋白異常の解析を行うことができる。 8) 遺伝子や蛋白異常について臨床的結果との統計学的評価をすることができる。 9) 細胞株や動物を用い、より基礎的な機能解析実験を行うことができる。 			
● 評価方法	検討会での討論30%・発表30%・レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。		